



異常洪水の後、待望の雨が降り続いた9月19日からの八日間、第二回定例会が開催された。19日は、各会派の代表質問が行われたあと、区長から議案十九件と専決一件が上程された。20日には、自民党三人、公明党・共産党各一人、社会党・民社党それに無所属・社会民主クラブ各一人の合計十人が登壇、区政一般質問を行なった。

最終日の26日の本会議では、上程されたすべての案件と追加された議員提出議案の意見書一件を、全員賛成で可決して閉会した。

「あなたのところは大丈夫ですか」―6月に発生した宮城県沖地震では、思ってもみなかった被害が多かった。その一つが、ブロック塀の倒壊である。区では、発生直後に係員を派遣し、調査を行なった。写真のように鉄筋が上部まで達していないなど、工法の不完全がその原因だった。写真＝仙台市内で（防災課提供）

## 第1次補正予算 一般会計 など21件を可決

### 第二回定例会の議決内容

#### 一般会計第一次補正予算

- 関係記事は別掲
- 老人福祉手当条例改正  
月額手当一万五百円を二万一千五百円に引き上げた。
- 心身障害者福祉手当条例改正  
第二種手当（中年度以上）を五百円アップし、月額七千円とした。
- 公園条例改正  
上野毛北小緑地（上野毛四丁目35-14）を加えた。
- 児童遊園条例改正  
池尻四丁目（池尻四丁目22-7）祖師谷五丁目（祖師谷五丁目21-1）児童遊園を追加した。
- 烏山区民センター工事請負契約の変更  
三件  
器材搬入道路の整備が遅れるため、新築工事・空調調換設備工事・電気設備工事の工期を延長した。
- 婦人会館の建物等の取得  
これまで経堂駅前の婦人会館建物を借りていたが、これを土地・付帯設備を含め買

区分	所在地	延長(m)
認	代田五丁目11・12	47.57
	世田谷一丁目30・31	89.48
	喜多見八丁目23	87.10
	船橋四丁目1	79.40
	八幡山二丁目3-4・13-14	140.38
定	希望丘土地区画整理施行地区内	1,315.95
	船田四丁目24-25	177.67
	北倉山九丁目14-15・20-21	4,438.75
	砧土地区画整理施行地区内	△ 109.18
廃止	船田四丁目24	△ 2,583.79
	砧土地区画整理施行地区内	△ 2,583.79
合計		3,689.33

- 報告 六件
- 昭和53年度定期監査 二件
- 例月出納検査（4・6月分） 三件
- 要望書の提出 一件（別掲）

取得する。  
買取額二億七千六百一十二万八千五百円。  
● 児童の傷害事故損害賠償額決定の専決処分の承認  
51年に発生した授業中の事故に対し、区が親権者に二億二千万一千円を支払った。  
● 一般消費税創設反対に関する意見書  
―内容は別掲―

#### 区長招集あはつ 人間味あふれる 地域社会を めざして

「第一回区民まつり」が、8月5・6日に馬事公苑で行われました。これは、①区民相互の協調と努力によるまちづくり②区民同志のふれあい③区民の郷土に対する愛着心の高揚を趣旨とするもので、幸いにも、多くの区民の賛同を得て十五万人以上の人に参加していただきました。協力いただいた関係者のみなさんに厚く感謝いたします。

私は、常々「都市の中ふるさと」とをとなえ、①区民相互の連帯②人間と自然との調和③区民の心を豊かにする文化の創造をめざして努力してまいりました。この「まつり」を通じて、その重要な役割を改めて認識し、区民の意識を積極的に受けとめていく所存です。今後時代の変革を先どりし、区民の交流の場を広げ、活力ある人間味あふれる地域社会を築きあげたいと思います。

さて、最近大地震が相次いで発生し、区民の不安が一層現実的になってきました。宮城県沖地震では、区もすぐに調査を行い、数多くの教訓を得ました。区民の不安を解消するため、ブロック塀の点検、夜間照明設備の整備、災害時用備品の充実、防災組織づくりなど、実現可能な事業を直ちに実行してまいります。現在、基本構想に引き続き「基本計画」を、基本構想審議会で策定しています。区としても、福祉・保健施策の各課題を明らかにし、区民と行政の役割分担を問いつけてまいります。また、婦人の社会参加の促進により、婦人の自立性と社会的地位の向上に努力してまいります。

駅周辺に放置された大量の自転車は、単に通行障害ばかりではなく、緊急時の通行阻止、清掃車などの通行不能など、住民生活までが脅かされてきております。区は、当面自転車駐車場を三カ所設置することになりました。しかし、根本的に解決するためには、自転車利用者の自覚など総合的対策がどうしても必要です。関係者による協議会を設置しましたが、今後とも協力を得て対応していく考えです。

### 追加補正額＝16億9010万円

補正後の一般会計予算総額 721億4339万円 ※△印はマイナスを示す

<b>民生費</b> 5億4119万84円 ◎保育園(船橋・用賀・宇奈根) 児童館(成城)の建設――2億7348万84円 ◎敬老会館(北島山)の建設――3063万44円 ほか	<b>教育費</b> 6億7579万94円 ◎小中学校校舎の建設 2億0327万34円 (千歳台小の新設など) ◎婦人会館の買収 2億7260万24円 ほか
<b>その他</b> ◎防災対策の推進――6054万94円 ◎休日深夜の急病医療――2246万24円 ◎自転車駐車場(用賀・船橋・花公園)の整備――1415万円 ◎総合施設建設基金の積み上げ――51億円 ◎工事延長による烏山区民センター建設費の減額――△8億0955万64円 ほか	<b>土木費</b> 5億0178万14円 ◎公園・児童遊園の新設、改修、用地買収――3億5227万84円 ◎下水道枝線の工事――9500万円 ほか

#### 委員会での審議

補正予算を審議した企画総務委員会では、区側から編成概要・内容説明を受け、直ちに審議に入った。

委員から、中央高速道路の下に敬老会館を建てる計画だが、震災時は安全なのか、「若林公園の隣に駐車場をつくるが、その管理方法は」と質問があった。理事者は、「鉄骨が鉄筋で建設せざるを得ない。駐車場については、高齢者事業団から管理人を

派遣したい。有料化を検討している」と答えた。

そのほか、37万人もの震災被害の想定に基づく備蓄倉庫の建設、祖師谷二丁目の貯水槽の安全性、街路灯の円高差益分の額、区税の100%徴収、児童館増設など、数多くの注文や質疑・要望があった。

このあと採決が行われ、全員賛成で原案を可決した。

#### 意見書 要望書

一般消費税創設反対に関する意見書  
税制調査会が、一般消費税導入の具体案を発表した。この税は物価上昇を促し、実質的なインフレの引き金ともなりかねない。さらに応能負担の原則に反し、国民に不公平税制を押しつけることになる。当区は付加価値税導入にも反対しており、区民の生活と営業を守るため、一般消費税の導入には強く反対する。

53年9月26日議決  
内閣総理・大蔵大臣あて  
相互乗り入れに伴う準急電車の経堂駅停車に関する要望書  
小田急線と千代田線の相互乗り入れが実現し、利用者に喜ばれている。だが経堂駅に準急が停車しないため、非常に不便だ。周辺住民と駅の利用者のために、早急に停車できるように検討されたい。  
8月17日提出 9月19日議会報告  
小田急電鉄社長あて



# 代表質問



区民全体のための  
行政を  
先行させよ  
—自民党—

質問 自治体の行政は、まず区民全体が必要とする事業から行われるべきであり、それこそ公平な「福祉行政」といえる。防災問題を含めての都市計画―道路整備が重要だ。当区の28本の都市計画道路は、現在どのような状況にあるのか。

区長 道路整備は、区政の重要課題として、基本計画の中に位置づけられよう。都市計画道路については、区独自で調査を委託しており、53年度末には都の素案とつき合わせ、新しい道路網を定めたい。

質問 都に付属した現在の財政制度では、都の財政危機の影響をともに受けてしまふ。財政調整率だけを問題とするのではなく、組織や行政運営のあり方についても見直せ。複雑・多様化する社会での住民要求に対応できるよう、職員の意識改革を行え。区長 地方行政制度を見直し、制度の改善を国や都に強く要求していく。財源の確保と経費の節減に努めたい。行政課題をめぐり職場内での検討や研修を通じて、職員の意識改革と能力向上に努める。

質問 高齢者事業団の求人・求職のバランスがよくない。その方策を考えているか。区長 公園の整備などを10月から委託する。都にもいろいろな面で協力を依頼する。

質問 来年の国際児童年に向けて、区の施策や計画を示せ。

区長 文化庁から児童劇場建設の声がかかっている。誘致について検討している。また、区も有意義な行事を考えたい。



きめ細かい防災対策に  
全力をあげよ  
—公明党—

質問 防災対策を推進するため、区行政全般を再検討し、地震による被害を最小限にするよう努めるべきだ。ブロック塀を調査し、倒壊の危険がある所は生け垣にするなど、条例や要綱を定めよ。特に公共施設の塀の補強はすぐに行え。危険度の高いがけや、避難道路を点検し、安全確保に努めよ。

区長 建築部長 通学路・避難道路周辺、公共施設のプロック塀等について早急に実地調査を行う。公共施設の塀はできるだけ早く改修していきたい。補強方法の指導、生け垣化・フェンス化の奨励や改修の勧告をしていく。生け垣化の助成の早期実施も検討する。特に崩壊危険地域の34カ所は、積極的に勧告、指導をしていく。

質問 防災活動拠点として空地の確保に努めよ。避難にだけ頼る震災対策から「逃げないでよい町づくり」に重点を移すべきだ。地域の危険度、形態にあった諸施設や設備の配置を行え。地域住民の防備体制の基盤作成、日常の防災訓練も必要だ。

区長 地震火災を防止するには住民自身の自覚が必要だ。ミニ防災広場は土地開発公社を活用し、できるだけ多く確保していく。装備の配置や防災訓練など、54年度は全庁的に防災対策に取り組んでいきたい。

質問 幹線道路沿いの地域に、下水道を早急に敷設せよ。同じ町内でも、敷設時期に差があるのは問題だ。

区長 都に早期整備を働きかけていく。全地域を一度に出来ないため差が生じるが、十分注意していきたい。

質問 サラ金による悲劇が続いている。被害者の救済措置を講じ、相談窓口も設けよ。

区長 法による規制措置、指導要綱の制定について国や都に要望していく。現行の法律相談制度の活用、「特別相談室」の設置などの対策を考えていきたい。



福祉施策を体系化し  
地域福祉の確立を  
—共産党—

質問 国は、深刻な財政危機を理由に福祉の切り捨てをはかっている。安上がりな福祉対策として、ボランティア活動など住民の善意に肩代りさせるのは許されない。従来までの消極的な福祉から脱皮し、今は住民の日常生活や健康の相談など、福祉全般にわたって担当する地域総合福祉センター的なものが要求される。区が、「福祉」と「保健」をタイアップする点は評価するが、教育部門も考慮に入れるべきだ。区長の福祉についての理念と展望を述べよ。

区長 地域社会における住民生活の福祉のあり方をとらえ直し、住民生活上の問題に対し、総合的に対処していく。基本構想では、地域福祉活動の場を充実するよう求めている。区でも今年4月、地域福祉担当部門を新設し、福祉保健検討委員会が地域福祉の検討を開始した。関連分野のあらゆる事項にわたって研究している。困難な面もあるが、積極的に対応していきたい。

質問 宮城県沖地震の教訓を区の防災施策にどう生かすのか。プロック塀・窓ガラス対策を強化せよ。低所得者が塀などを改善するのに、住宅修繕資金が利用できないか。区長 現地視察で得た貴重な教訓に基づき、塀や地盤の安全性確保のPR、業者への指導を強化する。防災意識の普及にも努める。

質問 国に対し、震災予防法の制定と宅地

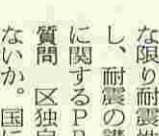


震災対策を柱として  
基本計画を作成せよ  
—社会党—

質問 宮城県沖地震の被害は、地盤の軟弱な地域に集中している。世田谷区内には、河川に沿って地震に弱い地盤が分布しており、北西部は木造密集地で火災の危険度も高い。区の基本計画は、災害対策を柱として作成すべきではないか。

区長 基本計画の中の居住環境の整備の項目で重点的に取り組み、災害に強い町づくりをめざす。予防・応急対策のほか、区民の参加による防災区民組織の育成、危険地区の解消などに十分配慮していく。

質問 休日や退庁以後の災害時の職員配備体制はできているのか。職員の居住地を単位とした出張所への配備が必要ではないか。区長 区内及び近隣在住の職員は一〇六八名おり、配備計画はできている。また災害非常配備訓練はしていないので、今後実施するようにしたい。



住民の生命を  
守るために  
細心の備えを怠るな  
—民社党—

質問 大地震が発生したとき、行政として一番大事なことは、住民の生命を守ることだ。その点を強く指摘し、防災対策全般に対する行政側の反省を促したい。まず最初に行うべきことは、消防活動がスムーズに行えるよう十分幅をもった「避難道路」を建設することだ。東京都の第二次防災計画に、このことをぜひ盛り込むよう要請せよ。特に火災危険地帯の道路の建設、道路周辺にある危険物対策を急ぐべきだ。代替地を要求する土地所有者のために、事前に土地を確保しておくことも心がけよ。防災上、なぜ道路が必要なのかをPRし、道路完成後は新たな公害を発生させないよう、交通規制などを住民と十分話し合っていけ。

区長 機会あるごとに、道路の拡幅に努めている。拡幅や新設は、周辺住民の協力がなければ実現不可能だ。大きな進展がみられないのが現状だ。地域防災については、自主的な防災組織づくりが行われているが、区としても12月頃までに「防災地域活動推進協議会」を充足させたい。この中で、地域特有の問題を細かく考え、危険度のPRを積極的に進めたい。また、都とも防災事業の分担を明らかにし、それに対する十分な施策を講じていきたい。

質問 災害時には、緊急車両の進入スペースとして、「緑道」を利用してはどうか。広



高齢者事業団会員の  
職場確保に  
積極的な援助を  
—無所属・社会民主クラブ—

質問 わが国は、近い将来世界でも有数の高齢化社会を迎えようとしている。区でも、老人が生きがいを持って社会に参加できるようにしていかなければならない。そのため高齢者事業団が設立されて二カ月になるが、発注される仕事量が少なすぎる。早急に区の仕事を提供し、対策を考えよ。

区長 高齢者事業団にはいろいろと援助していきたい。現在区では「サービスクラブ」の設立をめざしており、それを活用して高齢者事業団会員の仕事を確保することも考えていきたい。

質問 同じ高齢者でありながら事業団の会員には仕事がなく、区の職員や失対事業の就労者にはいつまでも仕事を保証されているというのでは、区民も納得しない。最小の費用で最大の福祉を実現するためには、職員の定年制もいつか実施しなければならぬ。失対事業の問題の解決も必要だ。

区長 失対事業の就労者は、生活資金を得るために働いている。事業団の会員とは分けて考えなければならぬ。失対事業の将来のあり方については、都と協議していく。

質問 区立保育園の保育時間を午前7時～午後7時に延長し、保護者の実態に合わせ、夜間、日曜日の保育も実施してはどうか。なり手の少ない特例保育の年齢制限を65歳までに引き上げ、さらに保育以外の仕事を積極的に高齢者事業団に提供せよ。

区長 保育園側との話し合いが必要であり、非常に難しい問題だ。

質問 老人は住み慣れた環境の中で安心して暮らしていくことを願っている。区内に軽費老人ホームをつくらせてはどうか。

区長 老人住宅の将来を考えていくと、軽費老人ホームの建設につながっていく。



防災の日。を前に、砧地域の三カ所で、世田谷区防災訓練が実施された。今年には医療班の参加など、例年よりも



# 一般質問



## コミュニティ計画を 進めていくのか

質問 住民と自治体との接近が今日の大きな課題だ。それはコミュニティを行政のサブシステムとして位置づけしていく方法しかない。現在のタテ割り行政では、住民からの要望に対応できない。環境保全、「社会教育」、「地域福祉」、「地域計画」はどれも横の連携が絶対に必要だ。区側の体制づくりをどう考えているのか(民社)。

企画部長 「コミュニティ」に対する定説がない現在、その対応策が難題だ。基本構想では、「地域性」と「協同性」を要素としている。これまでは一つのテーマの中で筋道を立てて検討してきたが、ヨコ割りのシステムも考えていきたい。基本計画を策定・実施していく中で整備していきたい。

質問 婦人対策協議会の最終答申が出された。これをどう受けとめ、実現していくのか。働く婦人のための検診など、急がれる事項から早く取り組んでいけ(共産)。

区長 答申を尊重して急いで取り組む。基本計画に合わせて「検討委員会」を発足させた。実現できることから手がけている。

衛生部長 テストケースとして行なっている。区内労働者の出張検診を、今年から正式に取り入れるよう準備している。

質問 都の大幅赤字財政が報道されている。世田谷区が都と、連鎖倒産しないよう努めよ(無・社民)。

助役 健全財政の維持のためには、あらゆる努力を惜しまない。福祉事業といえども場合によっては見直すことも考えている。

質問 総合文化会館建設の見直しと、その



## 福祉施設建設は公費で 運営経費は 応能負担に改めよ

質問 区民厚生委員会が、生業資金貸付者のうち、四人に一人の割合でコケツキがある」と報告された。福祉一辺倒の施策を考へ直す時期だ。保育園建設は公費でよいが、運営経費は、生活困窮者を除き「応能負担制度」にすべきだ(無・社民)。

助役 返還金未納者が20%を越えているのは事実だ。実態をよく調査して、できる限り返還を求めていく。保育所のあり方の検討は必要と思う。区長会で、総合的見地からの改善を要望していきたい。

質問 鳥山、尾山台、若林地域の児童保育クラブ増設が強く望まれている。二学校区に一方所設置の方針を進めていくのか。年に四カ所建設の計画は可能なのか(共産)。

助役 目標どおり充実させていく。指摘の箇所は緊急度が高いので、増設に努力する。運営方法や定数など効率化を考えていく。

質問 児童保育クラブは児童館を利用せよ。指導は、高齢者事業団から派遣するようにしてはどうか(無・社民)。

助役 都の児童館設置要領では、クラブ室の設置が義務づけられている。運営には、効率的な人員配置を考えていく。

質問 登録農地の普及指導に努めよ。農地確保の財政的援助ができないか(公明)。

区民部長 今後とも充実の方向で検討したい。質問 「サラ金」による悲劇が多い。他区の融資方法を参考に救済策を立てよ(共産)。

福祉部長 「法律相談」の中で対応していく。労働金庫などの提携も研究したい。

質問 来宮荘は改築する時期にきているのではないか(公明)。

区民部長 まだ使用に耐えられないほどではない。効率性などを分析して考えていく。



7月8日は、全国的に近年まれな水不足に見舞われた。区内の樹木は被害を受け、断水した地域も多かった。写真は一時的にストップした区役所前広場の噴水



## 街路灯電料の 円高差益金を 有効に活用せよ

質問 電力業界が円高差益金を国民に還元するのは当然のことだ。区の街路灯料金の還元額は、約一千五百万円にも上る。これを私道や団地の街路灯充実のために使用してはどうか。また、効率的な管理方法を検討し直す時期ではないか(社会)。

区長 環境部長 他の差益金と一緒に、全庁的に方途を検討したい。街路灯充実にも回していく。今後増加していくので、合理的な管理方法を考えたい。テストケースとして、来年度は水銀灯だけでも「委託管理」することを考えている。

質問 アマチュア地震予知グループが、宮城県沖地震の発生をキャッチしていた。区内に在のこのグループに、区も協力して防災対策の一環に加えるべきだ(共産)。

区長 井戸水観測など、民間の人の協力はぜひ必要と考えている。防災対策推進協議会の中に、「予知部門」を加えていきたい。区も援助するが、国・都にも要請していく。

質問 防災組織づくりを一層努力していき。予算も少なすぎず。従事職員の増員をはかり、強力な防災体制を整えよ(自民)。

区長 町会・自治会だけでなく、全区的に組織をつくらせていく。目標どおりのメドがついたら、54年度に予算・人員をふやす。質問 今年の防災訓練に医師会が参加したが、連絡体制がよくなかったようだ(自民)。

区長 衛生部長 医師会の参加に感謝している。今後よく協議を行い、それぞれの役

割・連絡方法をほっきりさせていく。質問 樹木の枯死が目立っている。区民の緑化意識の向上が必要だが、「水まき体制」を一本化し、管理方法を改めよ(社会)。

区長 土木部長 緑の保存は住民と一緒に進めていきたい。委託方式を含め全体的に管理体制を検討していく。

質問 樹木の保全を積極的に進め、害虫駆除の方法を改善したか(公明)。

環境部長 自然保護条例をフルに活用して保全に努めたい。消毒作業で指摘を受けた点は契約の際に指示した。



## 緊急医薬品を 区内全診療所に 配備しておく

質問 緊急時に備え、保存可能な「医薬品」を区内の全診療所に配備せよ。一カ所三万円位なので、総額四千万円以下で多数の区民の生命が救われる(自民)。

区長 食糧・水とともに、絶対ストックすべきものだ。必ず配備するようにしたい。

質問 生活保護者の医療体制が不十分だ。老人の無料診療に代替できないか(公明)。

福祉部長 全国的に指定医が減少している。医師会の協力を求めていきたい。都の老人無料診療とは制度が全く異なりできない。

質問 一人暮らし老人への医療対策は、ボランティア運動の人だけではなく、必ず医師会とも十分打ち合わせを行え(自民)。

福祉部長 訪問看護の方法を検討している。ボランティアで行う場合にも、医師会などとよく話合っていきたい。

質問 鳥山保健相談所の改築工事は計画どおり進められるか。夜間診療の計画は大丈夫なのか(公明)。

衛生部長 ボーリングの結果、非常に地盤が悪く、止水工事を考えなければならぬ。地盤沈下を起こさないよう検討している。



## 砧地域の 公共溝渠の整備を 定期的に実施せよ

質問 砧地域における公共溝渠の整備が大幅に遅れている。ふたかけできる所はずぐ行い、清掃や土揚敷の除草を定期的に実施せよ。ふたかけした側溝の溢水対策を、どう進めていくのか(共産)。

土木部長 公道部分からふたかけている。民有地も進めていく。現地調査して定期的に清掃などを行なっていく。6mごとに排水口を設けているが、溢水箇所については考慮していきたい。

質問 瀬田交差点付近の住民は、工事が長く続いているため迷惑を受けている。都市計画道路や徳川邸跡地のショッピングセンターの建設も計画されている。どう対応していくのか(自民)。

建築部長 ショッピングセンターは、都で建築確認を審査中だ。区も指導している。計画道路は住民をまじえて作業を進める。

質問 「つりがね池」の水を確保するために、井戸の揚水が可能なようだ。科学的データを得るため、その実験と調査を行え(共産)。

土木部長 地質調査は必要と考えている。今年度ボーリングと、水位の調査をしたい。

質問 鳥山北小学校の通学路は、いまだに砂利道のままだ。早く舗装を行え(公明)。

土木部長 大部分の土地所有者の了解を得て、拡張の見通しがついたところだ。できるだけ早く着工したい。

質問 玉川三・四丁目の谷川の整備が行われていない。浚渫計画があるのか(自民)。

土木部長 暗渠化するので改修予定はない。工事着工までは、区で浚渫していきたい。



## 幼稚園の 公私格差解消に 一層の努力を

質問 千歳鳥山駅の東側改札口を早く改善させよ。区も道路建設に着工せよ(公明)。

助役 駅付近の立退き問題に努力している。一部の道路工事に着手している。地下道建設を京王側と検討したが、さらに努力する。

質問 幼稚園の公私格差をどう是正したが、公私立の幼稚園の先生たちのコミュニケーションの場をつくれ。親子教室の拡充、区立幼稚園長の専任化を考えよ(公明)。

教育長 できる限り格差のないよう努力していく。先生の交流は、協議会の中でも出ており実現させたい。未就園児のための親子教室を今年も開く予定だ。園長専任制も都要望する。

質問 教育センターの機能について、その構想を示せ。教育相談をどの範囲まで行うのか。一般区民に開放するのか(自民)。

教育長 基本的には、①教員の研修②児童の校外学習③教育相談・機能訓練を考えている。そのほか、協議会では学校経営や施設の運営方法、区民への開放も検討されている。答申を待って有効な活用を考える。

質問 三浦養護学園の利用者が、非常に少ない。区民によくPRしているのか。また、併設の臨海学園を拡張し、二泊三日制の集団生活をさせよ(自民)。

教育長 父兄の不安感や施設の老朽化などが減っている原因だと思う。PRに力を入りたい。臨海学園の収容人員が少ないため、一校二回に分けて実施している。プロジェクトチームの答申が近く出るので、それから検討したい。

質問 中町小学校は、増築が終わると校庭が非常に狭くなる。区が借りている「中町苗圃」を買収し、プールを移設せよ(自民)。

教育長 苗圃の買収も検討した。将来計画を含めてさらに努力していく。

26日の本会議で、世田谷区職員の不祥事の発生について、区長から次のような報告があった。

建築部の一係長が業者から金品を受けていた事実が判明、9月23日に警察が庁舎内を捜索した。経過については、議会側にそのつど報告する。二度とかかる事件が起きないよう、直ちに「綱紀粛正対策本部」を設置、助役名で全職員にこの旨の依命通達を行なった。



# みなさんから出された 請願

## ○審議が終わったもの

- 採択 五件
- ◇一般消費税創設反対に関する請願
- ◇信号機設置に関する請願(粕谷二丁目10付近)
- ◇違反建築物撤去に関する請願(瀬田五丁目27-3)
- ◇千代田線と小田急線の相互乗り入れに伴う準急の経堂駅停車に関する請願
- ◇出張所新設等に関する請願(上祖師谷・成城地域)

―願意に沿うよう努力されたい。

## ■取下承認 六件

- ◇用地確保に関する請願(弦巻四丁目33)
- ◇砦第五出張所区民フロア新設に関する請願
- ◇六階建共同住宅建設に反対する請願(北沢一丁目21)
- ◇世田谷郵便局庁舎新築工事に関する陳情
- ◇九階建マンション建設反対に関する請願(用賀三丁目27)
- ◇仮称成城ヒミコマンション建設反対に関する請願

## ○新たに付託されたもの

- 企画総務常任委員会へ付託 一件
- 旧砦保健所跡地利用についての請願
- 区民厚生常任委員会へ付託 四件
- 家庭福祉員制度に関する請願
- 出張所増設の請願(粕谷地区)
- スーパーマーケットの米穀販売のれん分け登録反対に関する請願
- 九品仏小学校地域に児童保育所・児童図書室の設置を要請する請願
- 環境衛生常任委員会へ付託 二件
- 駐車場の被害に関する請願(上用賀五丁目8)
- 相模水道路舗装後の杭打ち反対に関する陳情
- 建設常任委員会へ付託 十一件
- 道路設置及び通行に関する請願(砦七丁目8-11)
- 環境整備に関する請願(上北沢駅周辺)
- 仮称「自由が丘マンション」建設反対に関する請願(奥沢六丁目30)
- 用途地域並びに容積率変更に関する請願(千歳烏山駅周辺と旧甲州街道沿道)

代々木病院看護婦寮建築に対する請願(桜丘四丁目7)

高層建築物に対する陳情(東玉川二丁目39) 用途地域指定に関する陳情(成城学園前駅周辺)

仮称駒沢共同ビル建築に関する請願(駒沢二丁目12)

等々力溪谷公園の整備と風致地区一部解除に関する請願

都立特別区道認定に関する請願(弦巻二丁目13-7-11)

用途地域指定変更反対に関する陳情(成城学園前駅周辺)

■文教常任委員会へ付託 一件

教育条件整備に関する請願

■下水道促進特別委員会へ付託 一件

下水道敷設促進に関する請願(深沢三丁目地区)

# せたがやの民話と伝説

文・桜井正信  
絵・阿伊染徳美

## 「刀鍛冶のうつつと鎌の槌音」

梅ヶ丘に、もの静かですことなく気品のある老刀鍛冶が住んでいました。このところ、刀匠は朝の暗いうちから槌音



をならしつけ、休むひまもないようでした。吉良の殿様が、刀や槍の注文をたくさん出したからでした。そんなある日、とつぜん旅の僧が刀鍛冶のところを訪ねてきました。加賀の前田家からの密使でした。吉良氏が亡ぼされるので、いまのうちに、刀匠の生圍一越前の小松にのまれるようにとの、ことづけ、だったのです。

刀匠は、使者に礼をつくし、刀鍛冶の宝物一本を伝える巻物を、越前の小松鍛冶にとどけてくれることをたのみました。刀匠はこの世田谷にとどまることに決めていたのです。刀匠は、使者がかえったあとも、なにごともしなかったように仕事にはげんでいました。

まもなく村の衆が、戦がはじまると、うわさをしてきました。刀匠はもくもくと精をだして、吉良氏の納品をつくりました。

やがて品物をおさめる日、吉良の殿様は戦わずに落ちのびることになり、刀匠にも従うようにいいました。が、老の身との理由で、梅ヶ丘にとどまりました。ただ弟子たちには、それぞれの大名に紹介状をもたせて、独立の道を拓いてやりました。

吉良氏が去ったあとは、世田谷は農村になりました。刀匠は包丁や鎌や鎌をつくる村の鍛冶屋になりました。

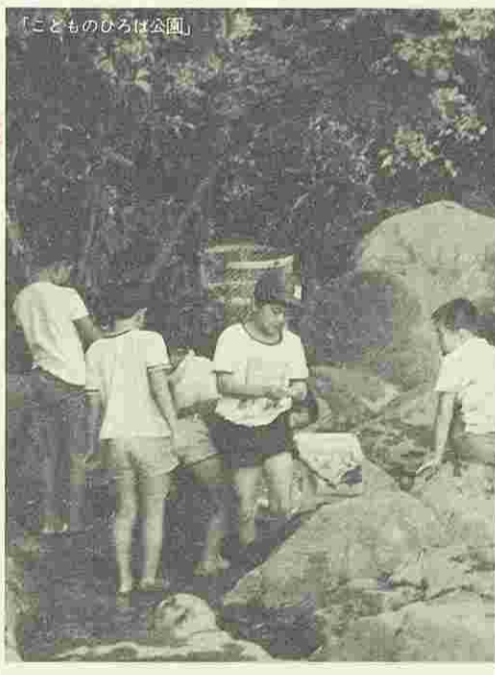
「これでいいんだ。」

名匠はそっとひとりごとをいいました。



# 私たちの生活② アイデア公園いろいろ

53年4月現在、世田谷には都立公園が4カ所、区立公園が92カ所ある。その面積は、23区では一番広いが、区全体の面積の比率はわずか2.8%しかない。これを区民一人当りにすると、2.2㎡—約1.3畳分になる。



区立の公園の中には、ユニークな公園として区民の間で評判になっているのがいくつかある。その一つが、「こどものひろば公園(下馬二丁目)だ。49年に、東京百年祭記念として、子どもたちからアイデアを集め、それを生かして遊び場をつくった。そのためか、施設のイタミも早く、昨年二百四十万円かけて、遊具や「トリデ」を改修した。

宮坂にある「万葉の小路」も区民に好評だ。下水道工事で、烏山川のふたかけをしたあとつくられた「緑道公園」である。区民が「古歌」に親しみながら散歩できるよう工夫されている。

そのほか、昔からある城や池を利用した公園や自然植生を生かしたものもある。

区議会でも、他都市を視察してきた議員から、これまでにいろいろ「アイデア公園」が提案されている。

最近では、ホタルの養殖場づくり、植物・昆虫が自然繁殖できる自然公園の建設、また、水族館を併設したり、買物道路公園の構想などが論議されている。

子どもたちの遊びも、近ごろすっかり変わってきている。これからは、区民のみなさんが知恵を出しあい、住んでいる町の環境にマッチした、特徴ある公園を考えてはどうだろうかユニークな公園の登場に期待したい。

900万住民の生活を守る財源を? 特別区財源獲得大会

二十三特別区議会主催の「特別区財源獲得大会」が、10月26日・午後1時から九段会館で行われました。このようは、次号(10月発行予定)でお知らせいたします。



今度の補正予算で、一番大きな事業は、羽根木公園の隣接地買収費である。羽根木公園といえば、今年の「梅まつり」は大賑わいだった。遠く区外からもたくさんの方々が訪れ、「一躍「梅の名所」として有名になった。この梅林は、42年に、議員全員で就任記念として植えたのがきっかけだ。公園がもっと広くなれば、毎年春にはもっと催物もふえて楽しみたい。

今年発足した高齢者事業団では、10月から区内のお年寄りに公園などの整備をお願いしている。遊んでいる子どもたちやお母さん方と、お年寄りが楽しく会話をしているのは大変ほほえましい光景だ。

都市公園は、私たちの生活の中のオアシスである。貴重な緑の保存場所であり、防災上のスペースでもある。私たちの健康維持のために、運動設備も欠かせない。これらの公園の役割を、みんなが理解して大切にしようではありませんか。

○今定例会では、「防災対策」に質疑が集中しました。壇上で、区内の「分析地図」を掲げ、詳細に説明した質問者も二人おり、理事者も真剣に耳を傾けていました。被災地の仙台市を訪れ、調査・視察した議員も多かったようです。

○「みなさんの立場から見た区の仕事を」と、前号から企画した「私たちの生活シリーズ」で、できるだけ議案に関連したテーマで、今後も続けていきたいと思っています。

○次号は、決算を中心にお知らせします。かねてから本紙の拡充が要望されてきましたが、これまでの倍のページに予定しています。編集委員の議員の力を得て、よりよいお便りに努めていくつもりです。

○11月初旬から第四回定例会が始まります。請願のことなど、区議会へのお問合せは、(412)一一一、内線590、598までどうぞ。

